

大学

アーカイヴス

関東地区大学史連絡協議会会報

1989. 1. 10 No.1

Association of College and University
Archives of Kanto Region

発刊にあたって

昨年6月、大学史編纂に携わるものにとって待望の「関東地区大学史連絡協議会」が設立されました。

本協議会は、規約にもありますように、大学史編纂および資料保存・利用等に関する共通の諸問題を協議し、情報交換をすすめることを目的に、大学史編纂に関わる諸機関によって設立された協議会です。

近年、各大学では大学史の編纂が活発に進められ、また、日本の近・現代史研究においても新しい分野として大学史の研究が注目されています。しかし、これまでの大学史の編纂は、記念事業として取り組まれることが多く、編纂体制、資料の収集・整理・保存など個別の大学史編纂事業だけではとどまり得ない様々な問題・課題が山積している状態にあります。本協議会では、こうした諸問題を多くの大学史関係機関が共通の場で協議し、さらに情報交換を行うことによって、個別大学史の編纂や資料の保存・利用方法をより発展させたいと考えております。

大学史連絡協議会は、まだ発足して半年に過ぎませんが、このたび、以上の目的の達成にむけて、会員相互の理解と交流を促進するとともに広く本協議会の活動を紹介するために会報「大学アーカイヴス」を刊行することになりました。今後は、部会の報告内容や会員校の動向、大学史に関わる情報や資料などを収録していく方針です。

本会報が、協議会の目的達成の一助となることを、さらには多くの大学史編纂機関が新たに協議会へ参加していただく契機となることを願って発刊の言葉といたします。

関東地区大学史連絡協議会常任委員会

関東地区大学史連絡協議会規約

(名称)

第1条 この協議会は、関東地区大学史連絡協議会と称する。

(事務局)

第2条 この協議会の事務局は、会長校におく。

(目的)

第3条 この協議会は関東地区に所在する大学の大学史編纂および資料保存利用等に関する共通の諸問題を協議し、情報交換をすすめ、会員相互の交流をはかることを目的とする。

(事業)

第4条 前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 大学史編纂上の実務に関する情報交換
- (2) 収集資料の保存利用に関する研究
- (3) 研修会(研究会)、講演会の開催
- (4) 会報の発行
- (5) その他、本会の目的達成に必要な事項

(会員)

第5条 会員は、この規約の趣旨に賛同する大学をもって構成する。

2 個人入会者については別に定める。

(入・退会)

第6条 入会は、所定の入会申込書を会長校に提出し、常任委員会の議を経て入会を承認される。

2 退会は、書面により会長校に届出て退会することができる。

(役員)

第7条 協議会に次の役員をおく。

- | | |
|-----------|----|
| (1) 会長校 | 1校 |
| (2) 副会長校 | 2校 |
| (3) 常任委員校 | 若干 |
| (4) 会計委員校 | 2校 |
| (5) 監査委員校 | 2校 |

2 会に顧問をおくことができる。

(役員の仕事)

第8条 会長校は、会を代表し会務を掌握す

る。

2 副会長校は、会長校を補佐し会長校支障あるときはその職務を代行する。

3 常任委員校は、会の運営につき審議執行する。

4 会計委員校は、会の会計を担当する。

5 監査委員校は、会の経理を監査する。

(役員を選出及び任期)

第9条 役員は総会で選出し、任期を1年とする。但し再任は妨げない。

2 顧問の推戴は、総会において行う。

(会議)

第10条 本会に次の会議をおく。

(1) 総会

(2) 常任委員会

(3) 部会

(総会)

第11条 総会は、通常総会及び臨時総会とする。

2 通常総会は、年1回(5月)開催する。

3 臨時総会は、常任委員会が必要と認めるとき、もしくは、会員校の三分の一以上の要求があったときに開催する。

4 総会は会長校が招集し、議長は会員校中から選出する。

5 総会は、会員校三分の二以上の出席をもって成立し、出席校の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

6 総会は、次の事項を審議する。

(1) 事業計画及び事業報告

(2) 予算及び決算

(3) その他重要な事項

(常任委員会)

第12条 常任委員会は会長校が招集し、この会の常務について審議する。

2 議長は委員中から選出し、議決は、三分の二以上を要する。

3 常任委員会の構成は、会長校、副会長校、常任委員校、会計委員校とし、監査委員校は、出席して意見を述べることができる。

(部会)

第13条 第4条の事業を行うため、必要に応じて部会を設けることができる。

2 部会については、別に定める。

(経費)(会計)

第14条 この会の経費は、会費及びその他の収入をもってあてる。

2 会費は、1会員校につき年額10,000円とする。

3 会費は、毎年5月末日までに、その年度分を納入しなければならない。

年度中途において加入した会員は、その1カ月後までに納入することとする。納入された会費は返戻しない。

(事業年度及び会計年度)

第15条 この会の事業年度及び会計年度は、

毎年4月1日から翌年3月末日までとする。

(決算報告)

第16条 本会の決算報告は、監査委員校の監査を得てその証明書を添付し通常総会に報告する。

(規約の変更)

第17条 この規約は、総会において会員校過半数の支持がなければ変更することができない。

付 則

1 本規約の実施に必要な細則は、常任委員会の議を経て定める。

2 この規約は昭和63年6月7日から施行する。

(資料)「関東地区大学史連絡協議会」

設立までの経緯

(1) 昭和61年10月29日・30日、宇都宮市栃木会館にて全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(略称・全史料協)第12回全国大会が開催された。その際、大会に参加した東京・福島・上智・中央の各大学の大学史編纂業務担当者間で、公立の史料館・文書館等の活動内容や趣旨・目的と若干異なる側面をもつ大学史編纂・資料保存業務の円滑化・相互情報交換を進め、それらを永続的・継続的な業務として研究・研修し深化させるために、関係諸大学と共に連絡協議会を組織する必要性がある点につき話し合われた。

(2) 上記に話し合いにもとずき

第1回会合が、昭和61年11月19日、上智大学史料室において開かれ、上智・東京・福島・明治・専修・中央各大学の年史編纂担当者が参加した。この会合では、「大学史連絡協議会」(仮称)を設立するために、関東地区所在の大学参加を呼びかけつつ、一定数の大学が集まった段階で「会則」等について改めて協議すること、月例研究会を開催することなどが申し合わされた。

(3) 第2回会合は、昭和61年12月18日、上智大学史料室において開かれ上智・東京・明治・専修・神奈川・日本女子・中央各大学の担当者が参加した。この会合では、会の名称を「大学史連絡協議会準備会」(仮称)に変更することとし、その後上智大学史料室小林愛子氏から「上智大学の歴史：史料とその所在を中心に」が報告された。

(4) 第3回会合は、昭和62年1月22日、東京大学山上会館にて開かれ、東京・福島・名古屋・上智・明治・専修・神奈川・日本女子・東海・工学院・玉川・東京経済・津田塾・東京女学館・中央各大学の担当者が参加した。月例報告は中央大学広報部大学史編纂課松崎 彰「資料複写の方法と複写資料の整理」であった。

(5) 第4回会合は、昭和62年3月26日、東京大学山上会館にて開かれ、東京・東京工業・上智・明治・専修・神奈川・日本女子・工学院・玉川・津田塾・独協・東洋・法政・中央各大学の担当者が参加した。月例報告は、明治大学広報課歴史編纂資料室大沢泉氏『『明治大学百年史』第一巻史料編Ⅰの編纂経過と明治大学の歴史』であった。

(6) 第5回会合は、昭和62年4月23日、東京大学山上会館にて開かれ、東京・上智・専

修・神奈川・日本女子・工学院・東京経済・津田塾・東海・独協・日本・東洋・立教・中央各大学の担当者が参加した。月例報告は、神奈川大学企画広報課澤木武美氏『神奈川大学五十小年史』の編纂経過とその後の問題点であった。この会合において、「大学史連絡協議会」の具体的な組織化と必要性が提起され、いくつかの大学が発起人となって会則などについての案をまとめることを申し合わせた。

(7) 第5回における申し合わせにもとづき、昭和62年6月17日、上智大学史料室において「関東地区大学史連絡協議会規約(案)」の検討会が開かれた。参加者は、早稲田・上智・明治・神奈川・日本・法政・中央各大学の担当者であった。ここにおいて、会の名称の件・役員及び事務局担当の件・会の目的や趣旨の件・個人会員参加の件他が討議されるとともに、当面は中央大学に事務局を担当してもらいたいとの提起もなされ、以下の3点を申し合わせた。

- ① 「大学史連絡協議会」設立に向けて引き続き準備会を開催する。
- ② 規約(案)については次回の準備会以降再度検討する。
- ③ 発起人校依頼については当面発起人準備会の形式を採用する。

(8) 第7回準備会・於上智大学・62.10.29
参加校・独協・日本・日本女子・神奈川・東洋・東京・東京経済・明治・早稲田・上智・中央の11大学

- ①規約(案)の逐条審議を行い、細部については、神奈川・明治・中央に一任された。
- ②研究会。「東京大学百年史の編纂とその史料」の報告が東京大学史料室の中野実氏により行われた。

(9) 第8回準備会・於日本大学・62.12.17
参加校・独協・日本・日本女子・神奈川・東海・立教・東京経済・上智・早稲田・工学院・中央・国立史料館の11大学1機関。

- ①規約(案)の審議は一部修正ののち了承された。
- ②研究会。「公文書館法」他について国立史料館の安藤正人氏により行われた。

(10) 第9回準備世話人会・於中央大学・63.5.12

世話人校・日本・神奈川(委任)・明治・上智(委任)・早稲田・中央。
関東地区大学史連絡協議会設立総会の日程などについて話し合いが行われた。

以上

関東地区大学史連絡協議会会員名簿

(50音順)

(会 員 校)	(担当部署)
神奈川大学	企画広報課
〒221横浜市神奈川区六角橋3-27-1	
(☎045-481-5661)	
国学院大学	校史資料室
〒150渋谷区東4-10-28 (☎03-409-0111)	
国際基督教大学	広報課
〒181三鷹市大沢3-10-2 (☎0422-33-3131)	
国土館大学	企画調査室
〒154世田谷区世田谷4-28-1	
(☎03-487-9705)	
実践女子大学	企画部企画広報課
〒191日野市大坂上4-1-1 (☎0425-85-0301)	

順天堂大学	医学研究室
〒113文京区本郷2-1-1 (☎03-813-3111)	
成蹊大学	学園史料室
〒180武蔵野市吉祥寺北町3-3-1	
(☎0422-51-5181)	
専修大学	庶務部年史資料課
〒101千代田区神田神保町3-8	
拓殖大学	総務部
〒112文京区小日向3-4-14 (☎03-947-2261)	
玉川大学	図書館学園史料室
〒194町田市玉川学園6-1-1	
(☎0427-28-3203)	
中央大学	広報部大学史編纂課
〒192-03八王子市東中野742-1	
(☎0426-74-2132)	

津田塾大学 企画調査室（史料室）
 〒187小平市津田町2-1-1 (☎0423-42-5116)
 東海大学 資料室
 〒151渋谷区富ヶ谷2-28-4 (☎03-465-0630)
 東京経済大学 学長室
 〒185国分寺市南町1-7 (☎0423-21-1941)
 東京女子医科大学 大学史料室
 〒162新宿区河田町8-1 (☎03-353-8111)
 東京農業大学 図書館
 〒156世田谷区桜ヶ丘1-1-1
 (☎03-420-2131)
 東洋大学 創立100年史編纂室
 〒112文京区白山5-28-20 (☎03-942-1469)
 独協学園 百年史編纂室
 〒340草加市学園町1-1 (☎0489-42-1111)
 日本女子大学 成瀬記念館
 〒112文京区日白台2-8-1 (☎03-943-3131)
 日本大学 大学史編纂室
 〒102千代田区九段南4-8-24
 (☎03-263-5991)

法政大学 多摩図書館資料課
 〒194-02町田市相原4342 (☎0427-83-2281)
 武蔵野美術大学 企画調査室
 〒187小平市小川町1-736 (☎0423-41-5011)
 明治大学 総務部歴史編纂事務室
 〒101千代田区神田駿河台1-1
 (☎03-296-4085)
 立教大学 図書館大学史資料室
 〒171豊島区西池袋3-34-1 (☎03-985-2693)
 立正大学 企画広報室
 〒141品川区大崎4-2-16 (☎03-492-5165)
 (個人会員)
 安藤 正人 (国文学研究資料館史料館)
 〒142品川区豊町1-16-10 (☎03-785-7131)
 小川千代子 (国立公文書館)
 〒102千代田区北の丸公園3-2
 (☎03-214-0621)
 小林 愛子 (上智大学史料室)
 〒102千代田区紀尾井町7-1
 (☎03-238-3294)

関東地区大学史連絡協議会設立総会議事録

日時 昭和63年6月7日(火曜日)

開会 午後3時 閉会 午後4時30分

場所 中央大学多摩校舎1号館1408会議室
 配布資料

○関東地区大学史連絡協議会規約(案)

○第1回準備会から今日に至までの経過報告
 参加校 神奈川大学 国学院大学 国際基督教大学 実践女子大学 成蹊大学 専修大学 拓殖大学 玉川大学 中央大学 津田塾大学 東海大学 東京経済大学 東京女子医科大学 東京農業大学 東洋大学 独協大学 日本女子大学 日本大学 法政大学 武蔵野美術大学 明治大学

立教大学 立正大学 上智大学(小林愛子氏) 福島大学(三石初雄氏)

次第

1 開会の挨拶 2 議長選出 3 経過報告
 4 議題

○関東地区大学史連絡協議会設立の件

○規約(案)審議 ○役員選出

標記総会により下記の経過・審議に基づき関東地区大学史連絡協議会の設立が決定した。

1 開会の挨拶

中央大学広報部長田上愛之氏

2 議長選出

議長選出について、立候補者がいないため、大学史連絡協議会準備会から提案があり、満場一致によって下記大学が議長団に選出された。

日本大学(梶原務氏) 法政大学(大野健一郎氏) 明治大学(大沢泉氏)

3 経過報告

このことについて、中央大学大学史編纂課大矢章一氏より第1回大学史連絡協議会準備会から今日に至る経過報告が行われ、特に質疑なく了承された。

4 議題

関東地区大学史連絡協議会設立の件

(1) 規約(案)審議

神奈川大学企画広報課澤木武美氏より規約(案)の説明が行われた。

終了後満場一致で設立が承認された。

5 役員選出

立候補者がいないため、大学史連絡協議会準備会から役員校候補者として下記の大学が推薦され、満場一致で承認された。

会長校 中央大学

副会長校 神奈川大学 明治大学

常任校 日本大学 日本女子大学

東京経済大学 東洋大学

会計校 上智大学(小林愛子氏)

東海大学(竹市智弘氏)

監査校 玉川大学 専修大学

懇親会

総会終了後、中央大学常任理事土屋六郎氏の挨拶をもって、懇親会が開催された。

常任委員会議事録

第1回

日時 昭和63年6月7日(火曜日)

開会 午後4時30分 閉会 午後5時

場所 中央大学多摩校舎1号館1408会議室

出席校 中央大学 神奈川大学 明治大学
日本大学 日本女子大学 東京経済大学 東洋大学 上智大学(小林愛子氏) 東海大学(竹市智弘氏) 玉川大学 専修大学

議題 関東地区大学史連絡協議会設立に伴う活動方針及び事務手続きについて。

1 事務手続きについて、関東地区大学史連絡協議会印の作成及び入会金振込銀行設置を行うこととした。

2 活動方針について、次回の常任委員会において再度検討することとした。

以上について、審議の結果了承された。

第2回

日時 昭和63年7月29日(金)15時~17時

場所 上智大学史料室

出席校 中央大学 神奈川大学 明治大学
東洋大学 日本女子大学 東海大学(竹市智弘) 上智大学(小林愛子) 専修大学 玉

川大学

報告事項 事務局から、郵便口座・郵便貯金口座を開設し、入会申込書・領収書・会員名簿他の事務文書と公印が整ったので、規約にもとづく事務処理を開始する旨の報告があり、了承された。

審議事項 1 事務局から本年度予算案の説明があり、了承された。

2 常任委員校の辞退届について

日本大学から常任委員校辞退の申出があり、審議の結果、同校の申出を了承し、かわって法政大学に常任委員校を要請することとする。なお、規約上、常任委員校の交代は総会による選出となっているため、今回の処置については来年5月総会において、常任委員会から事後了承をとることとする。

3 研究部会の開催について

第1回の研究部会を9月中に開催することを決定し、日時・場所等については事務局で設定することとする。

なお、研究部会の活動方針は、参加校の合議によって決定し、決定後、常任委員会の承認をうけるものとする。

4 「会報」の発行について

協議会の活動を記録し、広く社会にうってえいくために「会報」の発行を決定した。「会報」の名称・体裁・内容については継続審議とし、発行は本年末を目途とすることを申し合わせた。

5 次回の常任委員会は第1回研究部会終了後に引き続いて開催する。

第3回

日時 昭和63年9月30日(金曜日)

開会 午後5時 閉会 午後6時

場所 明治大学創立100周年記念大学会館
校友センター(6F)

出席校 神奈川大学 上智大学(小林愛子)
中央大学 東洋大学 日本女子大学 明治大学

報告事項 法政大学から、常任委員校を引き受けるとの連絡があったことについて、事務局報告があった。

会員校の紹介

中央大学大学史編纂課

中央大学の大学史編纂、資料収集等については、昭和51年10月に史料委員会設置要綱が設定され、委員会の事務は当初、理事長室記念事業課で所管していました。昭和54年に事務組織規則改正で広報部に移管となり、翌55年10月に部内に大学史編纂課が設置され、委員会の事務も移管されました。一方、百年史編集委員会は56年12月に、創立百周年記念実行組織としても構成され、史料委同様にその事務は当課の所管となりました。

大学史編纂課の主要業務は、資料収集・整理・保存、大学史の編纂・刊行となっていますが、前記の委員会設置・委員選任の状況から、組織上（規程を）整備する課題もあります。

現在まで、(1)「図説・中央大学1885→1985」(写真集)を創立百周年の昭和60年に刊行し、(2)大学史編纂課の作業状況を学内外に紹介する「中央大学百年史編集ニュース」を年2回発行し、(3)収集した資料は、編集委・専門委員が百年史執筆の際の資料としても利用し易いように、「中央大学史資料集」として逐次刊行しています。(4)また編集委員を中心に活動状況を内外に示す研究論文や、関



係者の回顧談、資料紹介、書評などを内容とした「中央大学史紀要」も刊行を予定しています。

その他、学内での記念行事に際して、歴史資料展も開催しており、上の写真は、昭和63年11月16日の「駿河台記念館」落成を記念して、同館内で資料展を催した1コマです。

こうした状況の中で、近々、百年史(通史)の執筆分担も決めて、百年史刊行に向けて具体的な準備を始めることになっています。

中央大学は、明治18年(1885年)に英吉利法律学校として創設され、その後、東京法学院、東京法学院大学、中央大学と校名を改めながら現在に至っています。

この間の関係資料について、情報がございましたら、当課にご連絡いただきたく、お願い申し上げます。

〒192-03 東京都八王子市東中野742
中央大学広報部大学史編纂課
TEL 0426-74-2132

審議事項 1 会員校と常任委員校との連絡を密にするため、常任委員会の議事録を全会員校に配布することを了承した。

2 設立総会議事録の誤りを修正のうえ、再配布することにした。

3 会報について、次回の常任委員会までに原稿を揃えるよう努力することにした。

4 次回の常任委員会は、第2回研究会終了後に引き続いて開催することにした。

第4回

日時 昭和63年11月17日(木) 16時30分～17時30分

場所 立教大学セントポールズ会館

参加校 神奈川大学 専修大学 玉川大学
中央大学 東海大学 東京経済大学 東洋大学
日本女子大学 法政大学 明治大学 上智大学(小林愛子)

議事 (1) 研究会の運営について

本年度については、会員校を訪れて施設見学・業務上直面している課題に関する討議などを行う事とする。

(2) 会報の発行について

会報の誌名を『大学アーカイヴス』とし、「発刊にあたって」を作成する。

(3) その他

小川千代子氏（国立公文書館）の個人会員入会を承認する。

全史料協関東部会から本会会員名簿提供の依頼があり、審議の結果担当者名を除いた名簿を送付する事とする。

研究部会記録

第1回

日時 昭和63年9月30日（金）

13時～17時

場所 明治大学創立100周年記念大学会館
校友センター第1会議室（6F）

参加校 神奈川大学 国学院大学 国際基督教大学 国土館大学 実践女子大学 順天堂大学 上智大学（小林愛子） 成蹊大学 中央大学 東海大学 東洋大学 日本女子大学 武蔵野美術大学 明治大学 立教大学 立正大学

開会挨拶

審議事項 1 事務局から部会設立までの経過説明と議題の提起があり、以下の通り審議された。

2 部会運営委員会の設置について。

本年度については、会長校、副会長校（2校）により運営委員会を構成し、部会事務を取り扱う事にした。

3 部会の活動方針について。

基本的な活動方針については、運営委員会が方針案を取りまとめることとし、当面は、参加校の施設見学、業務遂行上の経験談などを伺うケース・スタディー、講演会等を行うことにした。

4 次回の研究会は、立教大学において11月に開催することにした。

終了後、明治大学考古学博物館、刑事博物館の展示及び資料収蔵庫を見学した。

第2回

日時 昭和63年11月17日（木）

14時～16時30分

会場 立教大学セントポールズ会館

参加校 神奈川大学 国学院大学 国土館大学 専修大学 玉川大学 中央大学 津田塾大学 東海大学 東京経済大学 東京女子医科大学 東洋大学 独協大学 日本女子大学 法政大学 明治大学 立教大学 上智大学（小林愛子）

会場校挨拶 立教大学図書館長 鶴川 馨氏
報告

石田 弘（立教大学図書館大学史資料室）

「立教大学図書館大学史資料室の

現状について」

中野 実（同上）

「立教学院沿革史類の特色と今後の課題」

三二情報

『中央大学史資料集』刊行

中央大学の『中央大学史資料集』第3集が発行されました。内容は、東京大学に所蔵されている『文部省往復』他の学内文書から中央大学に関する諸史料を収集・編集したものです。（1988年11月刊、B5判、400頁、頒価1,000円）

『神奈川大学—60年のあゆみ—』刊行

神奈川大学の『神奈川大学—60年のあゆみ—』が刊行されました。この写真集は、激動の昭和史とともに歩んだ大学の歴史・学生の姿を写真や様々な資料によって綴ったものです。（1988年11月刊、A4判、約160頁、問い合わせは神奈川大学企画広報課）

ご案内

本協議会へ入会を希望される大学は、下記事務局へご連絡ください。

なお、次回の研究部会は、1989年1月20日（金）午後3時から東海大学（千代田区霞ヶ関、霞ヶ関ビル33階東海大学校友会館）で行います。

（事務局）中央大学広報部大学史編纂課
〒192-03 東京都八王子市東中野742
TEL 0426-74-2132